

Inajin

埼玉県立伊奈学園総合高等学校 同窓会会報誌

vol. 28
2009 Autumn



伊奈学園演劇部が私の演劇人生の原点

『少林少女』『UDON』など映画の話題作にも多数出演
舞台を中心に活躍中の女優さんが登場！

いま解き明かされる!? モニュメントの謎

伊奈学園シンボルの制作秘話

母校に帰った「Inajin」12名も登場

伊奈学園の「今」がわかる情報満載！

同窓会からのお知らせ

1~14期生の方へ 重要なお知らせ

恐れ入りますが
50円分の切手を
お貼りください。

来年から会報誌送付の年次が限定されます。昨年の総会において承認された内容に基づき、来年以降「Inajin」の送付は卒業後10年間とさせていただきます。

今回、対象となるのは84年入学者(1期生)から97年入学者(14期生)となります。

引き続き会報誌の送付を希望される方は、以下の方で手続きしていただけますようお願いいたします。なお、現在「Inajin」は同窓会ウェブサイトからもご覧になれます。

手続き方法

下記のいずれかの方法でお手続きしてください。いずれの場合も同窓会にて名簿照合の上、振込先等の案内をお送りいたします。

■メールによる方法

keizoku@inagakuen.on.arena.ne.jpに学籍番号、氏名、電話番号(携帯可)、郵便番号、住所を明記の上、送信してください。

■はがきによる方法

右部のはがきに必要事項を記入の上、お送りください。

受付期間

2010年2月28日必着(メール、はがきとも)

入金は2010年3月31日まで。

上記受付期間を過ぎた場合は受付しません。

会費

6,000円(税込)

※2010年から2019年までの10年間「Inajin」をお届けいたします。

埼玉県北足立郡伊奈町羽貫1300-1

伊奈学園同窓会

Inajin vol.28 係

伊奈学園同窓会 <http://inagakuen.on.arena.ne.jp>

〒362-0802 埼玉県北足立郡伊奈町羽貫1300-1

きりとり線 ☚

注意事項

- 左記受付期間内に手続き、振込がなされない場合は無効となります。今後は毎年、9月から翌年2月までを受付期間とし、その年から10年間「Inajin」を発送いたします。
- 引越し等により住所が変わった場合は速やかに同窓会に届けていただけますようお願いいたします。転居先不明で返送された場合、翌年からは発送いたしません。その際、納入済みの会費は返金いたしません。
- 会報誌の発送は日本国内のみとなります。
- 一旦納入された会費は原則返金いたしません。

いなほ基金設立のお知らせ(寄付のお願い)

伊奈学園の部活動、催事等において伊奈学園OB-OGからの寄付を取りまとめるためにいなほ基金を設立しました。皆さんの温かいご支援をお願いいたします。

用 途: この基金は伊奈学園の部活動、催事等において同窓生からの金銭的支援にのみ使用されるもので同窓会活動に使用されるものではありません。

寄 付 金 : 一口5,000円とし口数の制限はありません。

寄付方法 : 下記口座に直接振り込み(手数料は送金者負担)をお願いいたします。

振 込 先 : 埼玉りそな銀行 さいたま新都心支店 普通預金 0198363

伊奈学園同窓会 いなほ基金 会長 原 雅之

基 金 の 执 行 : 役員会、理事会において寄付先、金額を適正に協議し執行します。

諸注意

- この基金は伊奈学園全般を対象とし執行されますので、特定の部活動、事業に対して寄付をすることを希望される場合は、その部活動、事業の担当者様と直接やりとりをしていただくことになります。
- 寄付執行の際、寄付していただいた方の氏名等の情報は伊奈学園に提供されません。
- 一旦いただいた寄付金に関しては理由を問わず返金いたしません。
- 同窓会ウェブサイトのいなほ基金規程も合わせてご覧ください。

上記に関するお問い合わせは ina-doso@inagakuen.on.arena.ne.jpまで

Inajin
vol.28

STAFF
Editor in Chief : 大道加奈子【7期4A・芸術(美術)】
Producer : 溝口敏正【4期1A・語学】(株)スボッティング
Editor / Writer : 石田陽子【2期1G・理数】
Art Director / design : 町田えり子【7期5C・芸術(美術)】
Inajin topics / design : 越智浩一【11期6G・人文】

発行 / 伊奈学園同窓会 編集 / 会報誌編集委員会
お問い合わせ
Mail ina-doso@inagakuen.on.arena.ne.jp
Web <http://inagakuen.on.arena.ne.jp>

● 同窓会会長挨拶

原 雅之

【一期4A・芸術(美術)】



会長に就任し一年が経過しましたが、新たな人材を迎え、多くの方々の力を借りる事で組織改革の第一歩を踏み出す事が出来ました。HPのリニューアルと定期更新、プロ中心の会報誌制作、1~3期を対象としたホーム・カミングパーティーの実施、役員会や理事会の定期化等々。2009年度はさらに同窓会の組織化と活性化を目指し、年次組織を発足する事で情報発信型から相互交流型へと進化します。我々の様な若い世代は、社会的成功や生活の充実を目指し、日々努力を重ねている事と思います。前向きに努力しているO.B.O.Gの為に、交流の場を設ける事が、同窓会の存在理由だと信じ、今後も活動してまいります。

同窓会会長挨拶.....01

伊奈偉人伝.....02

モニュメントを
デザインした先生が登場！

Inajin SPECIAL INTERVIEW.....03

川田 希さん

TOPICS.....06

PICK UP スゴINAJIN.....07

伊奈学園で教鞭をとる
同窓生の皆さん

部活レポート.....07

同窓会からのお知らせ.....09

重要なお知らせ.....11



表紙 川田 希さん【8期1F・語学】
撮影 トヨサキジュン
(JAM PHOTOWORKS)
タイトルロゴデザイン
町田えり子【7期5C・芸術(美術)】

制作スタッフ募集中!!

同窓会会報誌『Inajin』はプロとして活躍中の卒業生がチームを組んで制作しています。同窓会では制作に関わって下さる方を随時募集しています。

作業費、制作費は支給いたしますので、ボランティアではありません。具体的な内容は年2回発行される同窓会会報誌『Inajin』の制作全般です。

編集、ライター、デザイナー、DTPオペレーターのほか、現在「カメラマン」さんと「印刷会社」さんは卒業生ではなく外部の方への発注となっています。同窓生の中でこれらのお仕事されている方がいらっしゃいましたら、ぜひぜひご一報ください。

詳細は同窓会ウェブサイト「Alumni Information」にも掲載されています。



PROFILE

2期生入学とともに、美術(彫刻・工芸)担当教員として、戸田・南稜高校から伊奈学園に着任。本学にて6年間を過ごした後、越谷北高校、栗橋高校、不動岡高校を経て、4月から非常勤講師として春日部女子高校に勤務。この夏は、美大を目指す生徒のために特別講習も行い、現役でご活躍中。

伊奈学園の歴史を築き上げてきた
偉人たちを紹介する一ページ
第2回は黎明期の大きな足跡となつた
モニュメントの制作者を訪ね
当時の様子など振り返っていただきました

vol.2

黒田 幸治 先生

モニュメントデザイン

Kouji Kuroda

白いシンボル塔に込められた 青き時代の今日への想い

「美術室づくりが最初の大仕事だったね。作品を保管しておく棚の設計から、芸術棟工事の基本設計のチェックまで。何でもやったけど、設計図の計画変更は説得が「苦労」。開校したばかりの新設校で彫刻の教員を探している、という話が伊奈学園に赴任したきっかけ。当時は、まだ芸術棟がなく、年明けは理科棟などの空き教室を使って授業を行いうような状態で、制作もままならない。

「美術室づくりが最初の大仕事だったね。作品を保管しておく棚の設計から、芸術棟工事の基本設計のチェックまで。何でもやったけど、設計図の計画変更は説得が「苦労」。開校したばかりの新設校で彫刻の教員を探している、という話が伊奈学園に赴任したきっかけ。当時は、まだ芸術棟がなく、年明けは理科棟などの空き教室を使って授業を行いうような状態で、制作もままならない。

「いや、あれは飛ばない、飛ばない！ ミヂイルだなんて、そんな話があるの!?」何期の頃からか、在校生たちの間で真しやかにささやかれる噂を話した第二声。テスト期間だという人気のない校舎の一角、昼下がりの美術準備室に高らかな笑い声が響く。開校したばかりの新設校で彫刻の教員を探している、という話が伊奈学園に赴任したきっかけ。当時は、まだ芸術棟がなく、年明けは理科棟などの空き教室を使って授業を行いうような状態で、制作もままならない。

芸術棟が完成した年、早くも開校10周年の記念事業の話が持ち上がり、「たまたま居合わせた彫刻家」として白羽の矢が立つ。「ちょうど乱暴な話なんだけど、渋谷校長の退任に合わせて記念事業を前倒しすることになつたんだよ。渋谷校長の功績は誰もが分かっているから」、計画は急速に進められる。歳月を経ることで時代に取り残されたり、風化することなく、シンボルとして誰の目にも留まる存在感のあるもの。「小さな胸像では意味がない」と、タワーの構想が浮かぶ。

デザインは程なく完成する。6つのハウスの集合を表わす六角形に、まっすぐに天空を指す先端部は未来へと向かって伸びるイメージ。

当初の高さは今の3倍を想定し、はるか遠方まで異彩を放つはずだった。「予算の関係で小さくなつたんだけど、総無垢で仕上げられなかつたのが今でも残念で。でも、あまりにシンプルなデザイン過ぎて反対意見も多かつたのが、完成したときには渋谷校長にも喜んでもらえて、断固として譲らず説得した甲斐があった」と目を細める。モニュメントには作者を記したプレートなどはない。代わりに「下の方の石に1ヵ所だけ、目立たないサイン」が刻まれている。



新作舞台の稽古中のひとコマ。稽古場では笑顔と笑い声が絶えない



パレスチナ撮影時のオフショット。現地の子どもたち

憧れの伊奈学園演劇部で 小さな成功体験をきっかけに 演劇がますます楽しくなりました

「伊奈学園で演劇を」
それが最初の目標

「進学先の高校を探し始めたとき、地元の高校に演劇部がないことに気づいたんです。中学時代は特に不満はなかったんですが、高校に行ったら演劇部に入ろうと思つていきましたから。それで、どうしようかと。いろいろと探し続けて、たどり着いたのが伊奈学園でした。総合選択制にも興味があったし、私の住んでいたド田舎からも受験

できる(笑)。それに、演劇部がある! 演劇を始めるための唯一の希望が、伊奈学園だったんですね。

伊奈学園で演劇を始める。それが川田の目標になった。苦手科目を補習と努力で克服し、無事に合格。川田はついに演劇部の一員となる。

「あれほど決意していたのに、入部のときはちょっと躊躇しました。怖気づいてしまって(笑)。仲の良いクラスメートが入部希望じゃなかつたら、入つてなかつたかもしれない。ただ、中学時代に演劇の経験がないことは特に気になりませんでした。先輩や仲間ともすぐに打ち解けられましたしね」。

なにもかもが初めての経験ではありますよ(笑)。小学生の役だったので、入部してほどなく、新入生発表会で初舞台を踏む。さらに、その後に行われた大会用の部内オーディションでは、なんと一年生にして主役の座を射止める。

「主役になれたのは背が小さかったからです。でも、入部してほどなく、新入生発表会で初舞台を踏む。さらに、その後に行われた大会用の部内オーディションでは、なんと一年生にして主役の座を射止める。

「主役になれたのは背が小さかったからです。でも、入部してほどなく、新入生発表会で初舞台を踏む。さらに、その後に行われた大会用の部内オーディションでは、なんと一年生にして主役の座を射止める。

やりたかった役でしたからピリピリした霧囲気もありましたし(笑)。ただ本番では地区大会を通過して、伊奈学園としては初めて県大会に出場できました。そこ

の小さな成功体験を経て、演劇がますま

す楽しくなっていきましたね」。

県大会の会場には、川田の希望をくんで地元から遠い伊奈学園に通うことを許し、稽古で帰りが遅くなる日には車での送迎などで献身的にサポートしてくれた両親の姿もあつた。多くの観衆の前で充実感を得た川田は、一層演劇へのめりこんでいく。

「高校3年間を通じて、演劇が好き、続ければ職業にしようとは思つていませんでした。同じクラスの野球部の子が『オレはプロになる!』と言うのを聞いて、へええ、スゴイなあ…みたいな(笑)。それだけ、遠い世界だったんです」。

女優という選択肢をまったく考えませんでした。同じクラスの野球部の子が『オレはプロになる!』と言うのを聞いて、へええ、スゴイなあ…みたいな(笑)。それだけ、遠い世界だったんです」。

女優といふ選択肢をまったく考えないでもなかつたが、進路相談では2番目に「なりたいものの話ばかりしてた。プロの演技者としての将来は、どうしても現実的に思えなかつたからだ。しかし、捨てるところのなかつたいた。プロの演技者としての将来は、少しすつ変えていく。

「女優になるのは現実的ではない。演劇学校に進む気もない。結局、普通の大学へ進学しました。そこでも演劇サークルには入りませんでしたね。なにか変な意地があつて、中途半端に演劇を続け

ゆっくりと進む歩み
道は「舞台」へと続く

「女優になるのは現実的ではない。演劇

学校に進む気もない。結局、普通の大学へ進学しました。そこでも演劇サークルには入りませんでしたね。なにか変な意地があつて、中途半端に演劇を続け

川田 希さん「女優」

一步ずつ、しかし着実に 女優は階段をゆっくりと上る

Inajin SPECIAL INTERVIEW

溝口敏正=文
text by Toshimasa Mizoguchi

トヨサキジュン (JAM PHOTOWORKS)=写真
photographs by Jun Toyosaki



「女優になりたい
なんて考えられなかつた

1978年から上演されているミュージカル「アニー」は、本家・アメリカはブロードウェイでも絶大な人気を誇る、

その美しいストーリーはもちろん、厳しいオーディションを勝ち抜いたアニー

ロードウェイでも絶大な人気を誇る、

そのひとつの作品に触ることで何らかの影響を受け、人生の方向性が定まつたという人も少なくない。女優・

川田希も、その一人と言つていい。

「アニーを見たのは小学生のころ。思えば、今の職業に就くことになった最初のきっかけかもしれない。女優・

女優や芸能人になりたいと思つたわけではありませんでしたね。演技をす

ることで、たくさんの人に影響を与えられる。そんな存在になりたいと、漠然と思つた程度だったと思ひます」。

芝居の世界を体験してみたい。少女のそんな願いは、なかなか実現されることはない。

「子ども心に『私もやつてみたい!』と思つたものの、オーディションを受けてみたりする勇氣もなかつたですね。一度、親にオーディションを受けてみたいと言つたことはあるんですが、本気にしてもらえなかつた(笑)。そんなわけ

は思つたものの、オーディションを受ける勇氣もなかつた(笑)。そんなわけ

ことはなかつた。

「子ども心に『私もやつてみたい!』と言つたことはあるんですが、本気にしてもらえなかつた(笑)。そんなわけ

は思つたものの、オーディションを受ける勇氣もなかつた(笑)。そんなわけ

ことはなかつた。

